

## 別紙

### 温室効果ガス削減計画

#### 1 事業の概要

- (1) 事業所の名称  
芦田川流域下水道芦田川浄化センター
- (2) 事業所の所在地  
広島県福山市箕沖町106番地
- (3) 業種  
3631 下水道処理施設維持管理業
- (4) 事業所位置図  
別紙のとおり

#### 2 計画の期間

本計画期間は、平成24(2012)年度を基準とし、平成25(2013)年度から平成27(2016)年度までの3年間とする。

#### 3 計画の基本的な方向

##### 1. 基本的な考え方

当事業場は、事業場運営及び環境に与える要素を的確に把握し、実現可能な環境目的及び目標、実行計画の策定による環境マネジメントシステムを制定し、適時見直しを行い、継続的な改善を行う。また、設備機器の延命及び電力等資源の削減に寄与するとともに環境負荷の低減並びに環境汚染防止に努めます。

##### 2. 方針

- 省エネルギーに対する継続的な改善及び職場環境の維持改善
- エネルギー使用状況から設備運用・改善を検討
- 新エネルギーの導入を促進
- 省エネルギーに関する啓発活動

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度 平成24年度	直近年度 平成24年度
二酸化炭素	4111.6	11,500	11,500

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度 平成24年度	直近年度 平成24年度
二酸化炭素			

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度 平成24年度	直近年度 平成24年度
メタン	253.3	563	563
一酸化二窒素	775.2	4,230	4,230
HFC PFC SF <sub>6</sub>			

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成24年度)	削減目標		目標年度 (平成27年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 流入水量 (千m<sup>3</sup>)

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成24年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成27年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	11,500	30,411	0.3782	1.0	13,689	36,580	0.3742
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン	563	30,411	0.0185	1.0	670	36,580	0.0183
一酸化二窒素	4,230	30,411	0.1391	1.0	5,034	36,580	0.1376
フロン類							
総排出量	16,293	30,411	0.5358	1.0	19,393	36,580	0.5301
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)			0.1429	1.0			0.1415
目標設定の考え方	下水道の流入水量は温室効果ガスの排出量に大きく影響する。よって原単位数値に流入水量を採用する。原単位見込数値はH27使用計画値						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	重油の使用量を原単位比で目標年度までに1%削減	焼却炉の連続燃焼等（効率的運転） 廃熱の有効利用
2	電気使用量の削減	電気の使用量を原単位比で目標年度までに1%削減	高効率機器への更新 昼休憩・必要場所以外の消灯の徹底 冷暖房温度の適正管理
3	メタン及び一酸化二窒素排出量の削減	メタン及び一酸化二窒素の使用量を原単位比で目標年度までに1%削減	脱水汚泥の再利用化
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

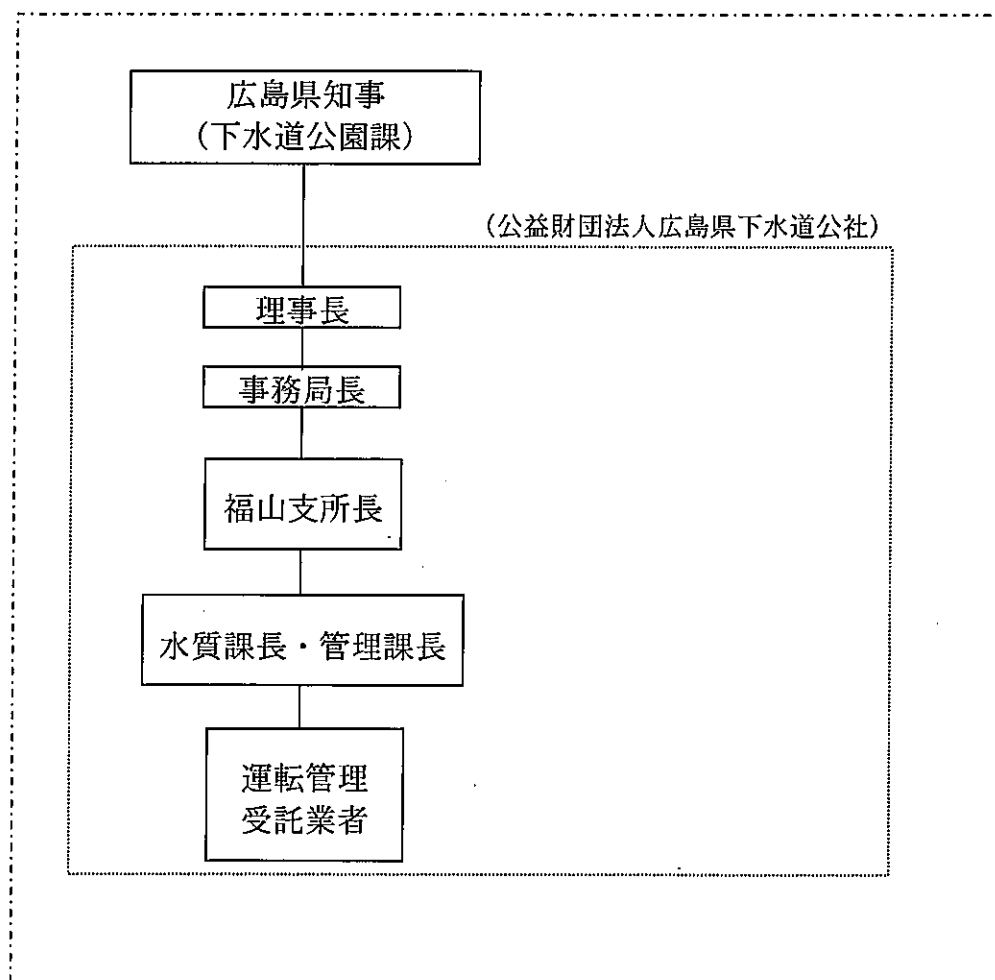
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

当事業所の省エネルギー推進会議（年4回）でエネルギー使用状況を把握してある程度の温室効果ガス排出量を予測する。

毎年温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検及び問題点には改善を行い、継続的な削減を図る。

### (3) 計画書等の公表

事業所内で事務所に備付け、閲覧できるようにする。